

残暑の中、推進委員をはじめ、校区内の皆様20名が参加され、児童養護施設 悲眼院（笠岡市）と平櫛田中美術館（井原市）へ研修視察に行きました。

【児童養護施設 悲眼院（ひげんいん）】

様々な理由で親権者による養育が困難になった児童を、親権者に代わって養育し、自立支援を行っている個人立の児童養護施設です。

豆知識

【平櫛田中（でんちゅう）美術館】

井原市出身であり、近代日本を代表する彫刻家「平櫛田中」の作品を保存展示しています。寄贈された作品や、遺族から贈られた遺作・遺品を中心に展示されています。

※現在、代表作「鏡獅子」が東京国立近代美術館から20年ぶりに里帰りしていて、常設展示中です。



参加者の感想

- 悲眼院住職の長年の苦労と努力、熱意が良く伝わって来て感激です。子どもや孫達には「自分で自分の道を作る」ことを言っていますが、非常に難しい課題であると痛感しています。
- 悲眼院はいつか訪れて実情を知りたいと思っていたところでした。開設当時から今日まで社会の変化に応じて、入所てくる子ども達の境遇や家庭環境、個々の特性などが変わってきてていることがよくわかりました。また身体的な支援が必要だった子ども達が減り、精神的、発達的支援が必要な子ども達が多くなって、一層手厚い保護や関わりが求められている状況は学校と同じで、とても大変だと思いました。
- 住職のお話を聞くと、先人の福祉に対する思いの深さや熱さを感じることができました。
- 悲眼院での研修では、これからの中の未来、将来を託す子ども達は、家庭・学校だけでなく地域・社会全体で見守り、大事に育てていかなければいけないと改めて感じました。
- 田中美術館では、田中が98歳の時に記された「今やらねばいつできる、わしがやらねば誰がやる」が印象的でした。（この言葉は、田中がいつも己に持してきた気持ちを表した言葉だそうです）



啓発グッズの作成

多津美中学校区の人権学習推進事業をPRするため、人権啓発キャラクターの「こころ」をデザインした啓発グッズを作成しました。
多くの方々に人権について考えていただけるように、人権啓発活動に役立てたいと思います。
「しおり」と「絆創膏」です→



多津美中学校区人権啓発
キャラクター「こころ」

令和7年度 総会開催 6月8日(日)

多津美中学校区のテーマ

人権を大切にしあう
明るい地域をつくりましょう



今年度の重点課題

あたたかく思いやりのある人の輪
つなごう・ひろげよう



多津美中学校区人権啓発
キャラクター「こころ」

多津美公民館にて、令和7年度多津美中学校区人権学習推進委員会総会を開催し、今年度の事業計画案や予算案など、全てが承認されました。今年度もテーマ及び重点課題のもと、地域の皆様と共に、ふれあい・交流活動等さまざまな活動を実施してまいります。

今年もアンネのバラが
きれいに咲きました

令和5年に福山市のホロコースト記念館でいただいた「アンネのバラ」が、今年も美しい花を咲かせました。公民館に来られた皆さんから「かわいい花



が咲いたね」と声を掛けていただきました。今年は4月上旬から7月下旬までが最盛期で次々に花が咲き、来館者の心を和ませてくれました。

来年も今年以上に花が咲くことでしょう。咲く花に世界の平和を願いたいと思います。

(写真は5月下旬に撮影)

会長挨拶

多津美中学校区
人権学習推進委員会

高田 司 会長



多津美中学校区の皆様、平素より当会の活動に温かいご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。令和7年度、会長に就任いたしました高田司です。浮田前会長同様、格別のご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

世界では紛争や自然災害、AIの進化による弊害など、私たちの暮らしにも影響を与える出来事が続いています。こうした時代だからこそ、地域のつながりや対話の大切さを改めて感じています。

当会では、「人権を大切にしあう明るい地域づくり」を目指し、学び合い、交流する活動を続けてまいります。皆様のご参加とご協力を心よりお願い申し上げます。